

第5回『原発と人権』全国研究・市民交流集会inふくしま：分科会

人間と核の 関係を考える

これまで私たちは「原発と人権」全国研究・市民交流集会の分科会の一つとして「核兵器と原発」をテーマにとりくんできました。核兵器禁止条約が発効し、フクシマ原発事故から10年を迎える今年、「人間と核の関係」を大局的に考える分科会を開催します。人間と核との関係は、法的・政治的課題であるだけでなく、社会的、哲学的、科学的課題でもあります。「核の時代」にあって、私たちはどう生きるのか、あらゆる角度から日常的に、自分事としてとらえ行動するためのきっかけになればと思います。

4月5日（月）18：00～20：00 オンライン
(ZOOM)

問題提起：京都大学准教授・直野章子さん（社会学）

主な著書『原爆体験と戦後日本——記憶の形成と継承』（2015年、岩波書店）

立教大学非常勤講師・穴見慎一さん（環境思想）

関係論文「『自然科学と人間』の射程IV—『フクシマの嘘』と『福島の実』」
(2017年、立教女学院短期大学紀要)

参加費無料・事前登録制（申込締切4/4）

<https://forms.gle/k4KGyqzZ4Wsrvs5> からお申し込みください。

反核法律家協会・国際法律家協会のサイトからでもお申し込みできます。



共催：日本反核法律家協会 ・ 日本国際法律家協会

お問合せ： 大久保賢一法律事務所 TEL04-2998-2866 jalana.office@gmail.com